令和８（2026）年 10 月１日現在
近畿厚生局健康福祉部企業年金課

近畿厚生局管内の確定給付企業年金の状況

この統計は、近畿厚生局管内で登録されている確定給付企業年金制度について、作成基準日（令和８（2026）年 10 月１日）までに提出された令和８（2026）年３月末までを決算日とする決算報告書及び事業報告書（以下「決算報告書等」という。2,219 件）に基づいて、作成したものである。

１．府県別、種類別の確定給付企業年金の状況

図表１、２の制度数は、作成基準日において現存する有効な制度数を計上しており、加入者人数、資産額、平均予定利率については、決算報告書等に基づき作成している。

（１）概況

制度数は 2,233 件（基金型 118 件、規約型 2,115 件)、前回（令和７年 10 月１日現在）に比べ 17 件減となり、加入者数 1,379 千人、資産額 109,723 億円、平均予定利率 1.97％であった。

図表１　府県別、種類別の制度数などの状況

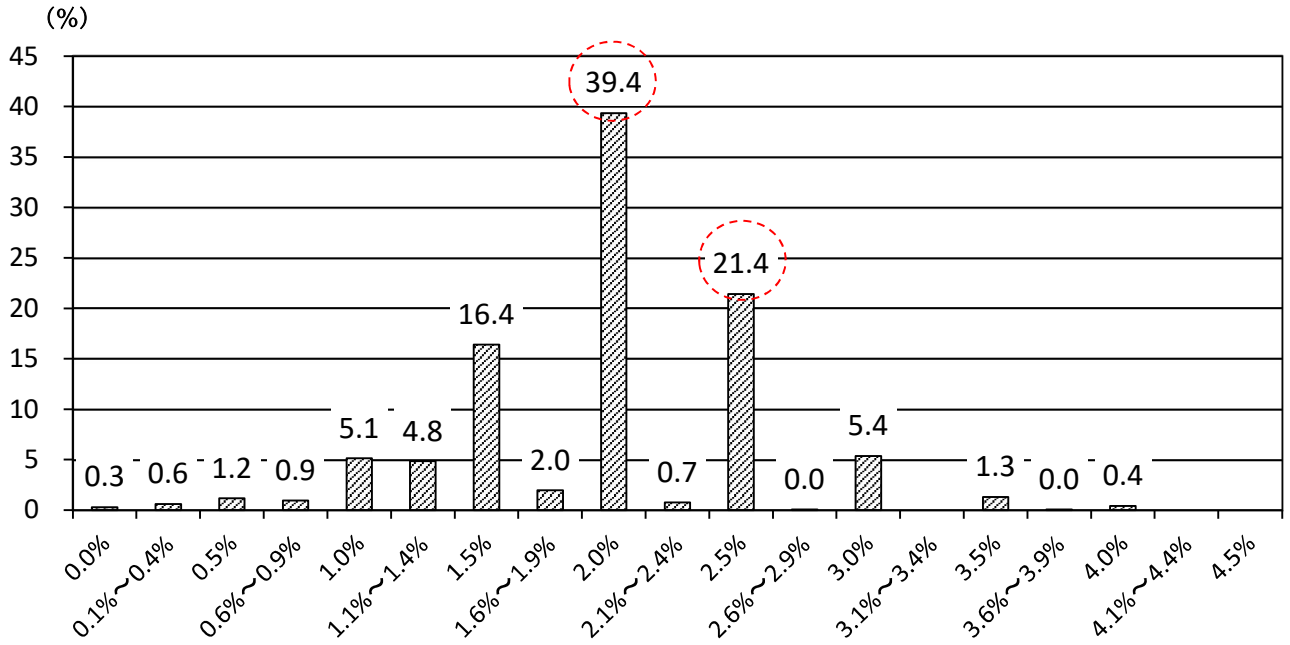
		合計	基金型	規約型計	一般	簡易基準	閉鎖型	受託保証			新基準適用（再掲）
									閉鎖型	開放型	
制度数	合計	2,233	118	2,115	1,351	666	24	74	37	37	1,482
	福井県	72	2	70	25	36	1	8	0	8	27
	滋賀県	89	3	86	49	31	0	6	1	5	51
	京都府	204	14	190	115	66	1	8	5	3	130
	大阪府	1,357	76	1,281	865	364	18	34	21	13	952
	兵庫県	410	18	392	239	137	3	13	8	5	258
	奈良県	44	2	42	27	10	1	4	1	3	30
	和歌山県	57	3	54	31	22	0	1	1	0	34
受託別	信託等	897	102	795	752	23	20	—	—	—	866
	生保等	1,336	16	1,320	599	643	4	74	37	37	616
加入者数（人）		1,378,767	618,560	760,207	703,419	56,788	—	—	—	—	
資産額（億円）		109,723	51,687	58,036	47,969	1,237	8,805	40	17	23	
平均予定利率		1.97%	2.21%	1.96%	1.96%	1.96%	2.04%	—	—	—	

注 1）受託別は総幹事会社の区分別であり、信託等は信託銀行と指定法人の合計、生保等は、生命保険会社と全共連の合計である。
2）閉鎖型は、加入者のいない制度である。

（２）予定利率の分布

予定利率は 2.0%と 2.5%で大半を占め、予定利率 4.0%以上が 0.4%（9 件）であり、予定利率 0.5%以下が 2.0%（44 件）であった。

図表２　予定利率の分布（予定利率別の制度数／制度数合計の割合）



２．令和７(2025)年度の決算状況（令和７(2025)年４月末～令和８(2026)年３月末決算分）

（１）概況

制度数は 2,219 件（基金型 116 件、規約型 2,103 件）、平均加入者数は 646 人、平均資産額は 4,922 百万円、単純平均利回り（運用実績）は 3.09%であった。

図表３－１　令和７(2025)年４月末から令和８(2026)年３月末決算の概況

	合計	基金型	規約型計	一般	簡易基準	閉鎖型	受託保証		
								閉鎖型	開放型
制度数	2,219	116	2,103	1,345	663	23	72	35	37
平均加入者数(人)	646	5,287	378	522	86	—	—	—	—
平均資産額(百万円)	4,922	44,180	2,757	3,561	187	38,283	56	49	63
平均予定利率	1.97%	2.21%	1.96%	1.96%	1.96%	2.04%			
単純平均利回り(実績)	3.09%	7.40%	2.84%	3.49%	1.51%	3.55%			
加重平均利回り(実績)※1	6.17%	7.05%	5.39%	5.13%	1.97%	7.31%			
積立水準その1	1.761	1.478	1.777	1.375	1.223	41.235	その1:責任準備金(※2)に対する積立水準		
積立水準その2	2.444	1.544	2.495	1.919	2.339	40.729	その2:最低積立基準額に対する積立水準		

※1）加重平均利回りは、資産額による加重平均である。

※2）責任準備金は、数理債務から特別掛金収入現価を控除した額（旧基準の責任準備金）である。

図表３－２　過去５年の決算状況の推移

	R3.4末～R4.3末	R4.4末～R5.3末	R5.4末～R6.3末	R6.4末～R7.3末	R7.4末～R8.3末
制度数	2,334	2,299	2,273	2,233	2,219
平均加入者数（人）	634	629	638	644	646
加入者数（千人）	1,479	1,446	1,450	1,437	1,434
平均資産額（百万円）	4,446	4,349	4,690	4,742	4,922
資産額（億円）※3	103,770	99,990	106,600	105,889	109,230
平均予定利率	2.04%	2.02%	1.99%	1.97%	1.97%
単純平均利回り(実績)	4.46%	−1.03%	4.49%	3.28%	3.09%
加重平均利回り(実績)	4.12%	−1.15%	7.14%	1.77%	6.17%
積立水準その1	2.099	1.263	1.366	1.506	1.761
積立水準その2	2.638	1.794	1.911	2.088	2.444

※１）加重平均利回りは、資産額による加重平均である。

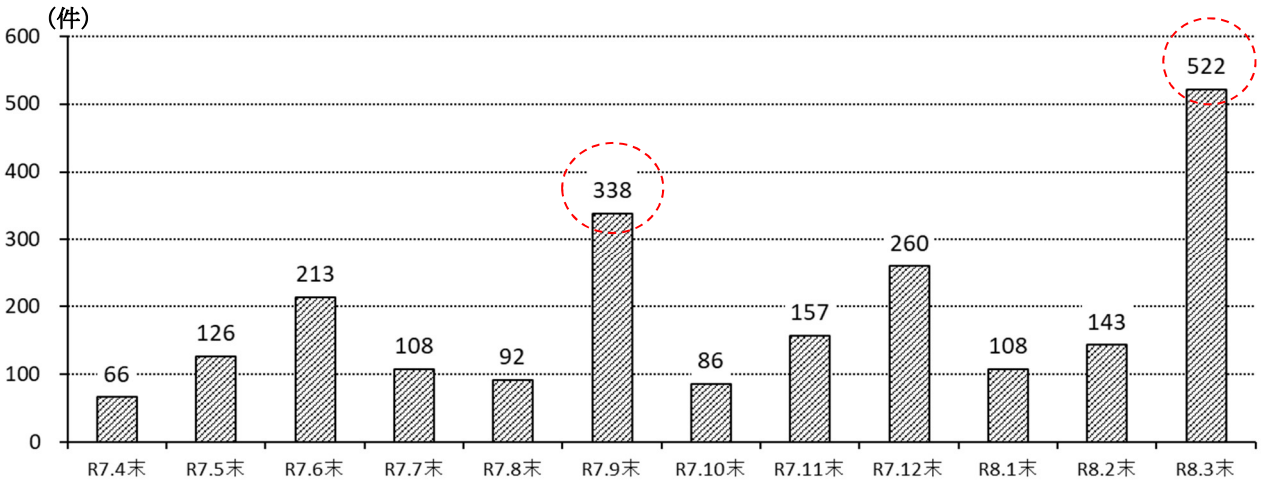
※２）責任準備金は、数理債務から特別掛金収入現価を控除した額（旧基準の責任準備金）である。

※３）資産額は、十億円での四捨五入で端数を整理している。

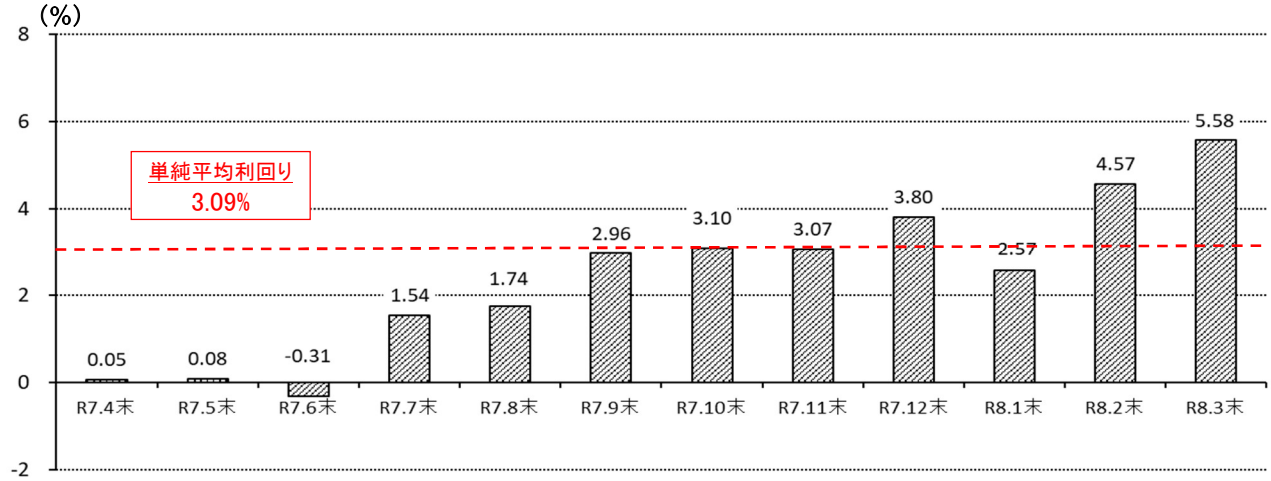
（２）決算月別の状況

決算の月別では、９月末決算（15.2%）と３月末決算（23.5%）が多くなっている。

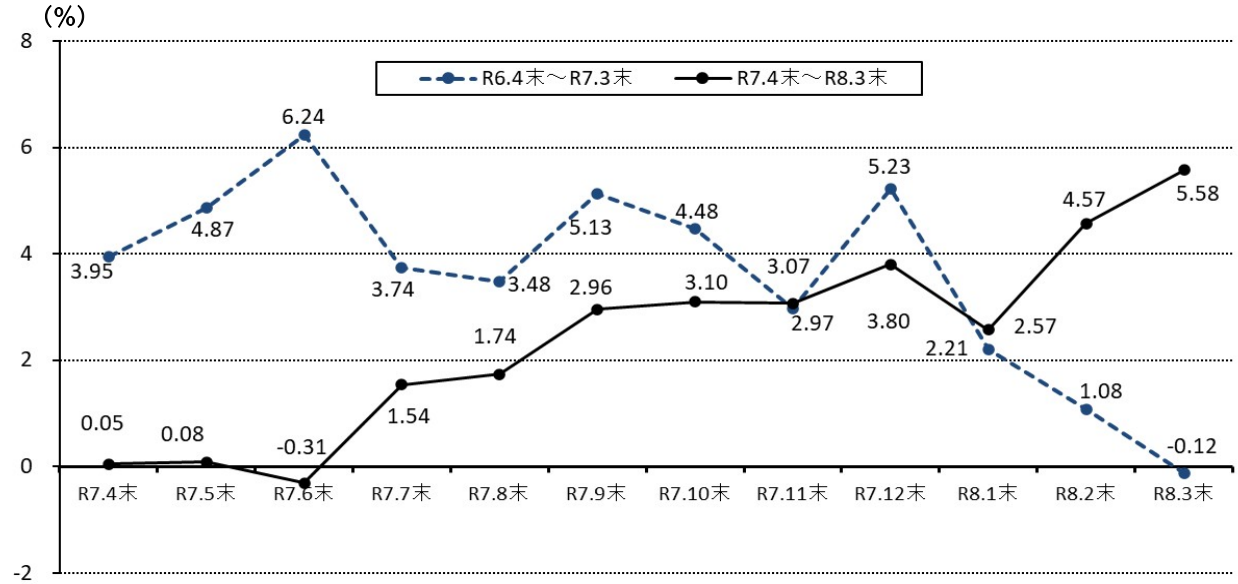
図表４－１　決算月別の制度数（合計 2,219 件）



図表４－２　決算月別の運用実績利回り



図表４－３　過去２年の決算月別の運用実績利回り

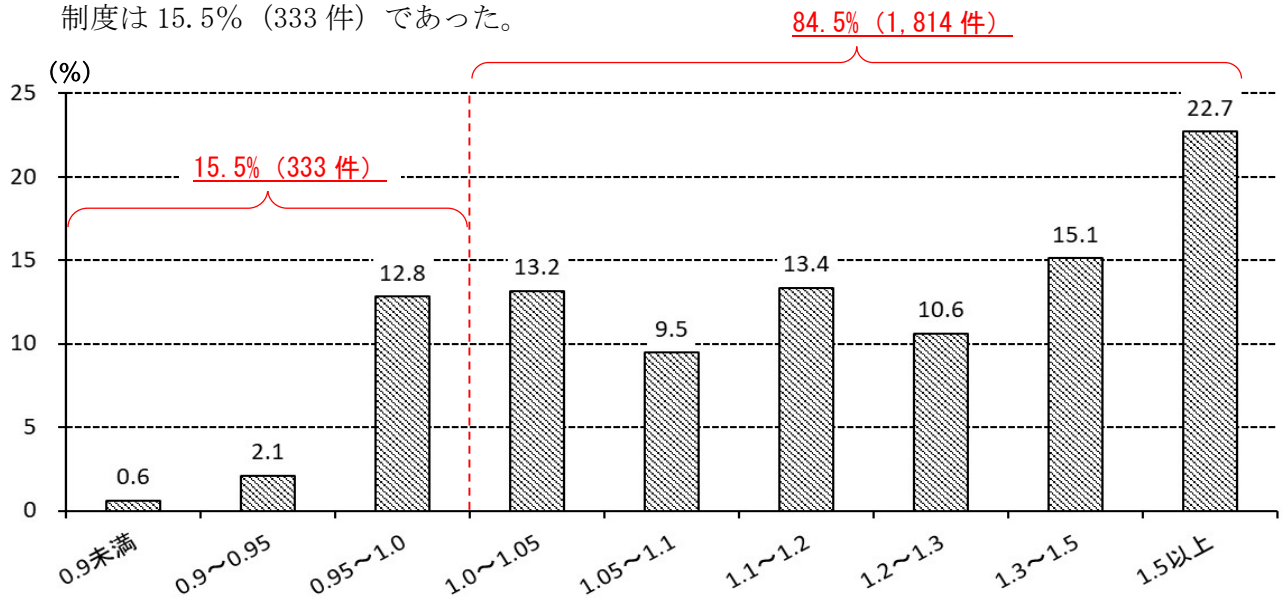


（３）積立水準の状況（受託保証を除く）

図表５、６は、純資産額の責任準備金(数理債務から特別掛金収入現価を控除した額)及び最低積立基準額に対する積立水準の分布をまとめたものである。

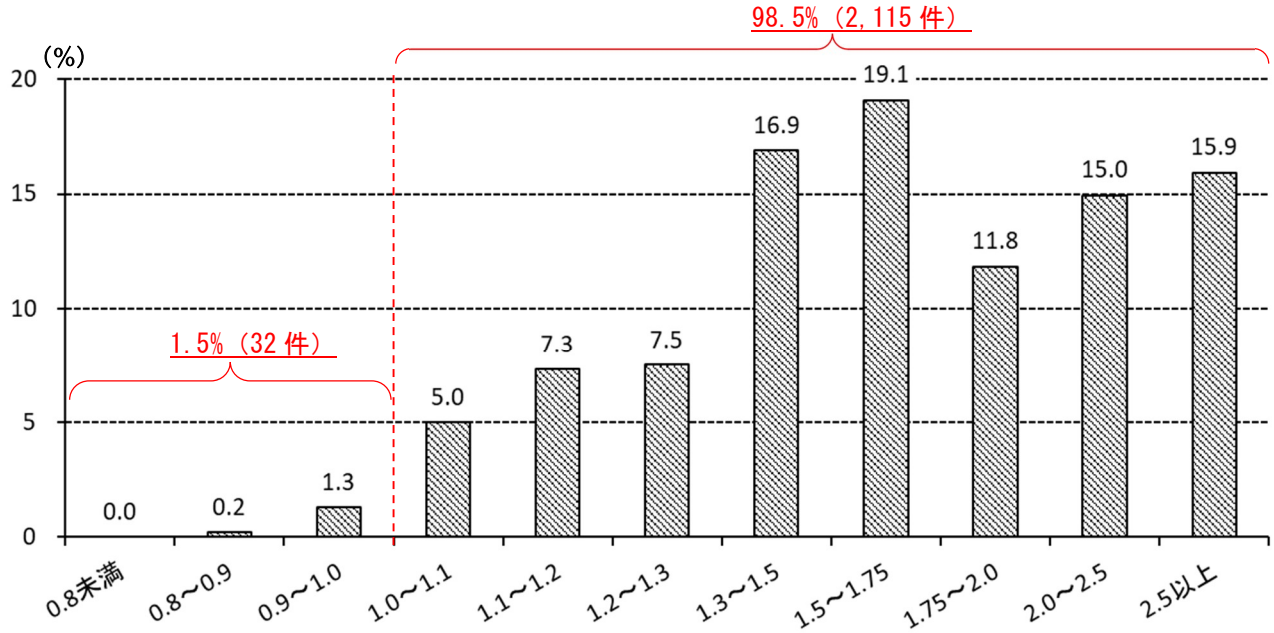
図表５　責任準備金に対する積立水準の分布（積立水準別の制度数／制度数合計の割合）

責任準備金に対する積立水準が 1.0 以上の制度は 84.5%（1,814 件）であり、1.0 未満の制度は 15.5%（333 件）であった。



図表６　最低積立基準額に対する積立水準の分布（積立水準別の制度数／制度数合計の割合）

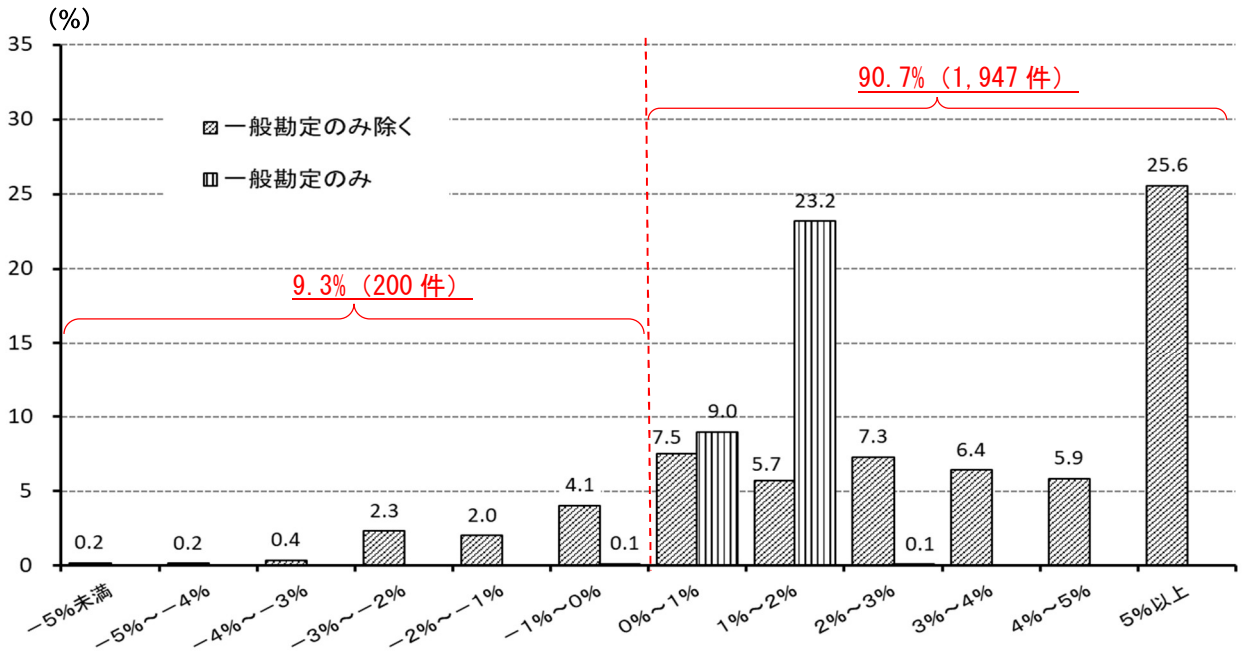
最低積立基準額に対する積立水準が 1.0 以上の制度は 98.5%（2,115 件）であり、1.0 未満の制度は 1.5%（32 件）であった。



（４）資産運用の状況（受託保証を除く）

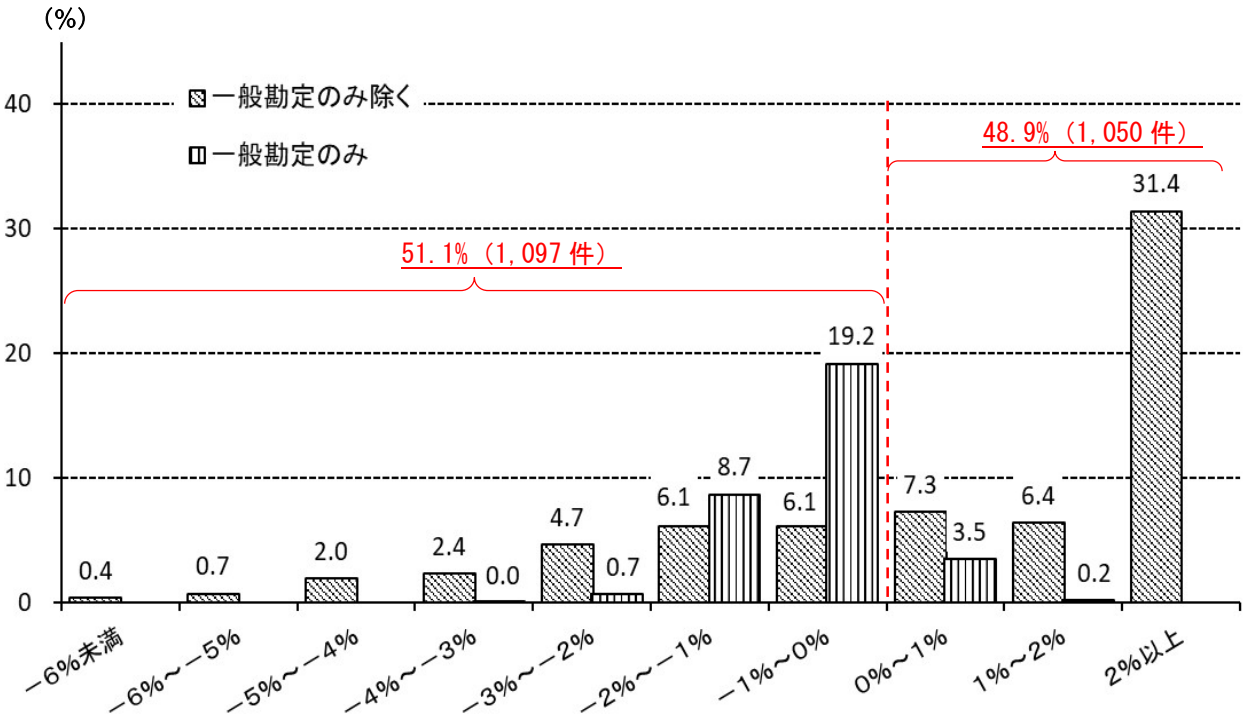
図表７　運用実績の分布（運用実績別の制度数／制度数合計の割合）

運用実績については、制度ごとに決算日が異なることから単に比較することはできないが、運用実績が 0.0%以上となった制度は全体の 90.7%（1,947 件）であり、一方、0.0%未満となった制度は全体の 9.3%（200 件）であった。



図表８　実績の運用利回りと予定利率の差の分布（運用実績－予定利率＝差）

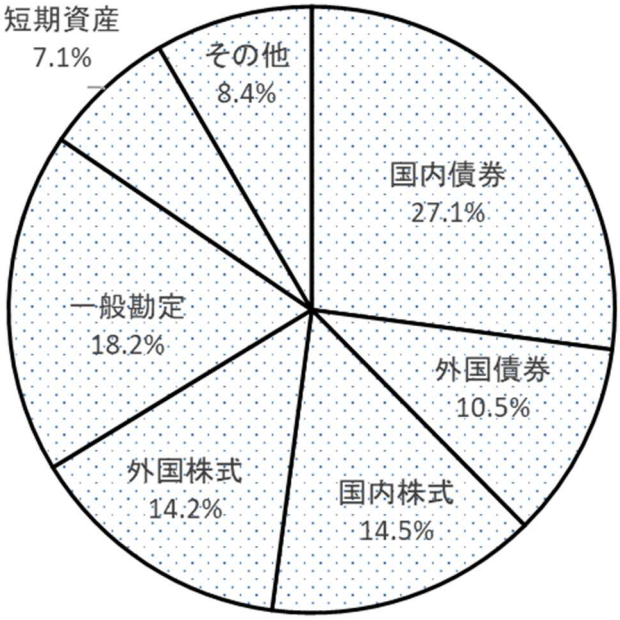
運用実績が予定利率を下回った制度は全体の 51.1%（1,097 件）であり、上回った制度は全体の 48.9%（1,050 件）であった。



（５）資産構成等の状況（一般勘定のみで運用している制度を除く）

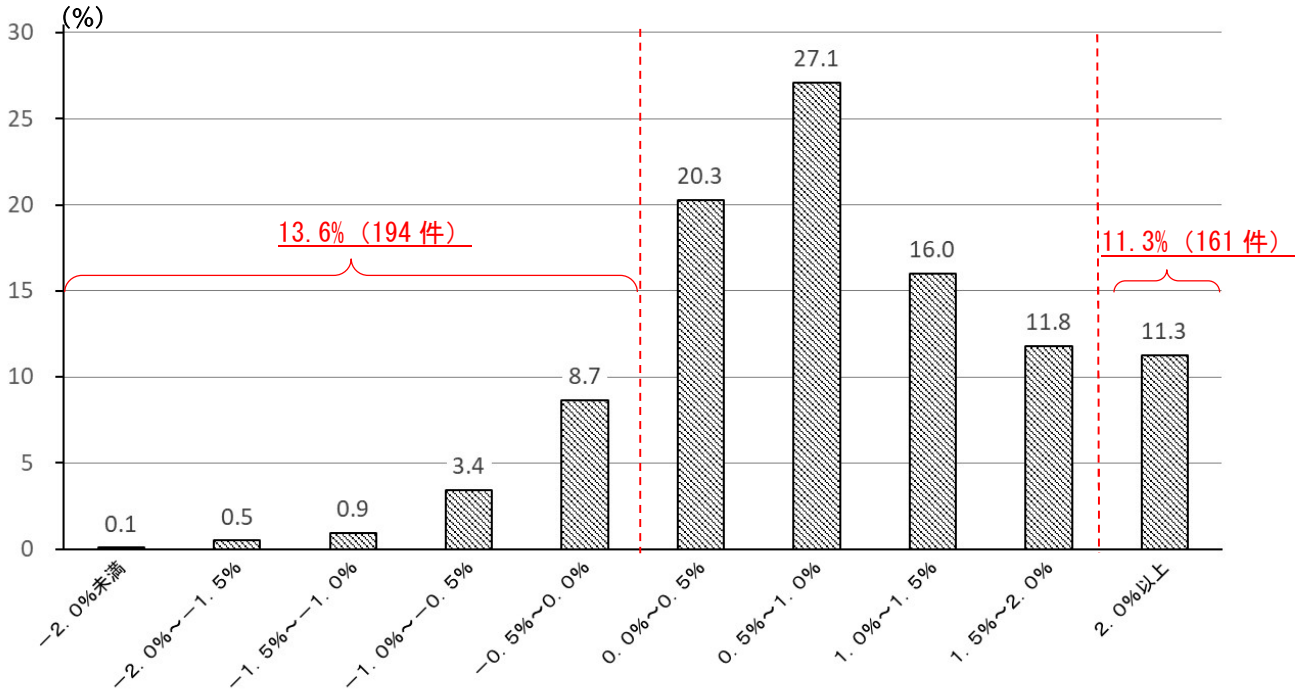
図表９の運用実績の資産構成割合は、決算報告書等の事業年度末日における資産の時価総額に基づく、資産構成割合をまとめたものである。

図表９　運用実績の資産構成割合（平均値）



図表 10　政策的資産構成割合に基づく長期的な期待収益率と予定利率の差の分布
（期待収益率－予定利率＝差）

政策的資産構成割合に基づく長期的な期待収益率が予定利率を下回る（0.0%未満）制度は 13.6%（194 件）であり、一方、予定利率を 2.0%以上上回る制度は 11.3%（161 件）であった。



以上